

六 結婚獎勵に關する印刷物の刊行

結婚獎勵に關する參考として差當り左の印刷物を刊行し廣く結婚獎勵關係者に頒布すること

- 1 結婚斡旋の手引
- 2 職場に於ける結婚の獎勵
- 3 健康と結婚の乘
- 4 結婚への心構
- 7 結婚斡旋所の經營

適當の時期に於て結婚斡旋所を經營し廣く一般の利用に資せしむること

財團法人人口問題研究會編「ラテン・アメリカの人口問題」の刊行

財團法人人口問題研究會は同會編人口問題資料第四十八輯として「ラテン・アメリカの人口問題」(七〇頁)を刊行した。因に本輯は Moises Poblele Troncoso : *Problemas sociales y economicos de America Latina. Santiago de Chile, 1936.* を委託調査の形成に於て神戸商業大學商業研究所中南米經濟調査部に翻譯せしめたもので、内容目次を掲ぐれば次の如くである。

内容目次

- 一、人口と人種
- 二、米洲に於ける人口増加及び分布
- 三、米洲人口の全般的考察
- 四、人口密度
- 五、人口分布
- 六、人口の男女別構成
- 七、人口の年齢別構成
- 八、社會事情による人口構成

九、人口動態

- 一〇、婚姻率の趨勢
- 一一、出生率の趨勢
- 一二、死亡率の趨勢
- (イ) 一般死亡率及び幼児死亡率
- (ロ) 乳兒死亡率
- 一三、私生子
- 一四、移植民
- 一五、移植民問題結論
- 一六、原住民
- 一七、職業別人口構成
- 一八、人命の社會經濟的價值

滿洲國に於ける開拓農場法の公布

滿洲國に於ては滿洲開拓農民の健全なる發展を保障することを目的として昨昭和十六年十一月組織法第三十八條に依り參議府の諮問を経て勅令を以て「開拓農場法」を公布し、開拓農場の世襲家産制に依る鞏固なる農業經營基礎の確立を圖ることとなつたが、ナチス獨逸に於ける世襲農地法の先例にも見る如く、その人口政策的意義は極めて注目するに足るものといへよう。今昭和十七年四月より實施せらるる筈であるが、その法文を掲ぐれば以下の如くである。

開拓農場法

第一章 開拓農家

第一條 本法ハ開拓農場(以下農場ト稱ス)ノ世襲家産制ニ依リ鞏固ナル農場經營ノ根據ヲ確立シ以テ健全ナル開拓農家(以下農家ト稱ス)竝ニ之ヲ基礎トスル

農村ノ生産發展ヲ圖ルヲ目的トス

第二條 農家トハ開拓團(以下團ト稱ス)又ハ開拓協同組合(以下組合ト稱ス)ノ區域内ニ於テ農場ヲ所有シ其ノ經營ニ依リ獨立ノ生計ヲ營ム日本内地人開拓民ノ親族團體ヲ謂フ

第三條 農家ハ其ノ名ニ於テ農場其ノ他ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フ

第四條 農家ハ家長又ハ家長ニ非スシテ農家ニ屬スル者(以下農家族ト稱ス)カ農家生活ヲ爲スニ付他人ニ加ヘタル損害ヲ賠償スル責ニ任ス

第五條 農家ニ在リテハ家長ハ農家ヲ代表シ家政ヲ主宰ス

農家族ハ通常ノ農家生活ニ關スル事項ニ付農家ヲ代表ス

家長又ハ農家族ノ行爲ニシテ農家ニ爲シタヤ否ヤ分明ナラサルモノハ農家ノ爲ニ爲シタルモノト推定ス

第六條 本法施行ノ際存スル農家ノ世帯主ハ本法施行ト同時ニ其ノ家長ト爲ル

日本内地人ノ親族團體カ新ニ農家ト爲ルトキハ其ノ世帯主ハ同時ニ其ノ家長ト爲ル

第七條 農家ハ開拓精神ヲ體シ家長ヲ中心トシテ農場ノ經營ニ當ルト共ニ家名ヲ永遠ニ保持シ隣保相助及民族協和ノ達成ニ任スルモノトス

第八條 家長及農家族ハ農家ヨリ相當ナル扶養及教育ヲ受ケ

第九條 農家ハ家長又ハ農家族ニ對シ情義ニ違ヒ且農家ノ資産狀態其ノ他ノ事情ヲ斟酌シ農場以外ノ農家財産ヲ分與スルコトヲ得家長又ハ農家族カ農家ヲ離脱スルトキ亦同シ

前項ノ場合ニ於テ團又ハ組合ハ財産ヲ分與スヘキヤ否ヤ及分與スヘキ財産ノ範圍ニ付調整斡旋ヲ爲スコトヲ得

第十條 農家ハ適正ナル農業經營ヲ爲ス爲世帯ヲ分ツヲ相當トスル場合ニ於テ農家族ノ同意アルトキハ團又ハ組合ノ許可ヲ得テ其ノ者ヲシテ農家ヲ創立セシムルコトヲ得但シ滿十五年未滿ノ者ニ付テハ其ノ同意ヲ得ルコトヲ要セス

團又ハ組合ノ區域内ニ居住スル日本内地人ノ親族團體ハ團又ハ組合ノ許可ヲ得テ農家ヲ創立スルコトヲ得

第十一條 家長ハ農家ノ債務ニ付農家ト連帶シテ辨濟ノ責ニ任ス

農家及家長其ノ財産ヲ以テ農家ノ債務ヲ完済スルコト能ハサルトキハ農家族連帶シテ辨濟ノ責ニ任ス

前二項ノ債務ハ家長又ハ農家族ノ一身ニ專屬ス

第十二條 農家ヲ離脱シタル家長又ハ農家族ハ離脱當時ニ有スル財産ノ限度ニ於テ前條ノ責任ヲ負フ

前項ノ責任ハ離脱後二年以内ニ履行ノ請求ヲ爲ササル債權者ニ對シテハ離脱後二年ヲ經過シタルトキ消滅ス

第十三條 農家又ハ家長若ハ農家族ノ孰レニ屬スルカ分明ナラサル財産ハ農家ノ財産ト推定ス

第十四條 家長カ未成年ナル場合又ハ長期ニ互リ家政ヲ主宰スルコト能ハサル場合ニハ家長ノ職務ニ付代行者ヲ置ク

代行者ニ關スル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第十五條 家長タル地位ノ承繼ニ付テハ本法ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外其ノ者ヲ被相續人トシタル家

督相續ノ順位ニ從フ

第十六條 農家族ニ非サレハ承繼人ト爲ルコトヲ得ス但シ本法ニ別段ノ定メアル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第十七條 戶主タル家長ニ付家長ノ地位ノ承繼ト共ニ家督相續開始シタル場合ニ新家長ト新戶主トカ異ルトキハ農家ハ農家及新戶主ノ資産狀態其ノ他ノ事情ヲ斟酌シテ新戶主ニ對シ相當ノ財産ヲ分與スルコトヲ要ス

戶主タル家長ニ付家長ノ地位ノ承繼開始シ家督相續開始セサル場合ニ於テハ農家ハ農家及前家長ノ資産狀態其ノ他ノ事情ヲ斟酌シテ前家長ニ對シ相當ノ財産ヲ分與スルコトヲ要ス

第十八條 家長又ハ農家族ニ付遺產相續開始シタル場合ニ家長又ハ農家族ニ非サル者カ遺產相續人ナルトキハ農家ハ其ノ遺產相續人並ニ農家及被相續人ノ資産狀態其ノ他ノ事情ヲ斟酌シテ其ノ遺產相續人ニ對シ相當ノ財産ヲ分與スルコトヲ要ス

前項ノ規定ハ戶主タル農家族ニ付家督相續開始シ家長又ハ農家族ニ非サル者カ其ノ家督相續人ナル場合ニ之ヲ準用ス

第十九條 家長ハ正當ノ事由アルトキハ團又ハ組合ノ許可ヲ經テ其ノ地位ヲ辭スルコトヲ得

第二十條 團又ハ組合ハ家長ニ付左ノ事由アリテ將來家政ヲ主宰セシムルヲ不適當ト認ムルトキハ其ノ地位ヲ剝奪スルコトヲ得

一 家長正當ノ事由ナクシテ團又ハ組合ノ區域外ニ居住シタルトキ

二 家長ノ本分ニ悖ル行爲アリタルトキ

三 禁治產又ハ準禁治產ノ宣告アリタルトキ

團又ハ組合カ同項ノ規定ニ依リ家長ノ地位ヲ剝奪スルニハ法院ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

第二十一條 家長タル地位ノ承繼ハ左ノ事由ニ因リテ開始ス

一 家長ノ死亡又ハ農家離脱

二 家長ノ辭任又ハ地位ノ剝奪

三 家長ノ團員又ハ組合員タル資格ノ喪失

第二十二條 家長ハ法定ノ推定承繼人カ家長ト爲ルニ適セサルトキ其ノ他正當ノ事由アルトキハ團又ハ組合ニ對シ其ノ廢除ヲ請求スルコトヲ得

團又ハ組合カ前項ノ廢除ノ請求ニ付處分ヲ爲スニハ法院ノ認可ヲ得ルコトヲ要ス

第二十三條 法定ノ推定承繼人ハ家長ノ同意アルトキハ團又ハ組合ノ許可ヲ得テ其ノ地位ヲ辭スルコトヲ得

家長ハ正當ノ事由アル場合ニ非サレハ前項ノ同意ヲ拒ムコトヲ得

第二十四條 法定ノ推定承繼人ノ廢除ノ請求アリタル後其ノ手續結了前ニ承繼カ開始シタルトキハ法院ハ利害關係人ノ中出ニ因リ又ハ職權ヲ以テ團又ハ組合ニ對シ農家財産ノ管理ヲ命スルコトヲ得

第二十五條 法定ノ推定承繼人ナキトキハ家長ハ農家族中ヨリ承繼人ヲ指定スルコトヲ得

團又ハ組合ノ許可ヲ得タルトキハ家長ハ農家族ニ非サル親族中ヨリ承繼人ヲ指定スルコトヲ得

前二項ノ指定法定ノ推定承繼人アルニ至リタルトキハ其ノ效力ヲ失フ

承繼人ノ指定ハ之ヲ取消スコトヲ得

第二十六條 前條ノ指定ニ因リ承繼人ト爲リタル者ハ

承繼開始前其ノ地位ヲ辭スルコトヲ得

第二十七條 法定又ハ指定ノ承繼人ナキトキハ團又ハ組合ハ農家族中ヨリ承繼人ヲ選定スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ選定ヲ爲スコト能ハサルトキハ團又ハ組合ハ農家族ニ非サル家族又ハ親族中ヨリ承繼人ヲ選定スルコトヲ得

前二項ノ選定ハ被選定人ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ其ノ效力ヲ生セス

第二十八條 第十九條、第二十條、第二十二條、第二十三條及第二十五條第二項ノ規定ニ依リ團又ハ組合ノ爲シタル處分ニ對シテハ其ノ處分アリタル日ヨリ二月以內ニ法院ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 第二十條第二項及第二十二條第二項ノ規定ニ依ル認可、第二十四條ノ規定ニ依ル管理命令並ニ前條ノ規定ニ依ル異議ノ申立及裁判ハ團又ハ組合ノ所在地ヲ管轄スル地方法院ニ於テ非訟事件法ニ依リ之ヲ爲ス

第三十條 第二十條第二項及第二十二條第二項ノ規定ニ依ル認可又ハ不認可ノ裁判並ニ第二十四條ノ規定ニ依ル管理命令ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得

第二十八條ノ規定ニ依ル異議ノ申立ヲ理由アリト認ムルトキハ法院ハ團又ハ組合ノ爲シタル處分ヲ取消シ更ニ相當ノ處分ヲ爲スヘキコトヲ團又ハ組合ニ命シ又ハ自ら其ノ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十一條 家長、農家族、代行者、承繼人其ノ他農家ニ關スル事項ハ司法部大臣及農産部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ農家臺帳ニ記載スルコトヲ要ス

家長又ハ承繼人ノ辭任並ニ承繼人ノ指定及其ノ取消ハ之ヲ農家臺帳ニ記載スルニ依リテ其ノ效力ヲ生ス

前項以外ノ事項ニシテ第一項ノ規定ニ依リ農家臺帳ニ記載スヘキモノハ出生及死亡ヲ除クノ外其ノ記載ノ後ニ非サレハ之ヲ以テ善意ノ第三者ニ對抗スルコトヲ得

第二章 開拓農場

第三十二條 農場ハ農家所有ノ開拓農地及其ノ上ニ存スル農家所有ノ家屋其ノ他ノ工作物ヲ以テ組成ス

農場ハ司法部大臣及農産部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ農家臺帳ニ記載スルコトヲ要ス

第三十三條 開拓農地トハ農家カ團、組合又ハ他ノ農家ヨリ讓受ケタル團又ハ組合ノ區域内ノ土地ヲ謂フ

第三十四條 農場ヲ組成スル開拓農地ノ面積ハ農産部大臣之ヲ定ム

前項ノ面積ハ當該地方ニ於ケル適正ナル農業經營ニ依リ農家生活ヲ向上安定セシムルニ足ルモノナルコトヲ要ス

農家カ經營力ノ増大其ノ他正當ノ事由ニ因リ開拓農地ノ増加ヲ申出テタルトキハ團又ハ組合ハ農産部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ農家ニ付第一項ノ面積ヲ增加スルコトヲ得

第三十五條 第十條及前條第三項ノ場合ニ於テハ團又ハ組合ハ其ノ農家ニ對シ必要ナル土地ヲ讓渡スルコトヲ要ス

農家ハ第十條第一項ノ場合ニ於テ前條第一項ニ規定スル面積ヲ超ユル開拓農地ヲ有スルトキハ團又ハ組合ノ許可ヲ得テ之ヲ新ニ創立スル農家ニ分與スルコトヲ得

第三十六條 農場ヲ組成スル物件ニ對シテハ金錢債權

ニ基キ強制執行ヲ爲スコトヲ得

第三十七條 農場ヲ組成スル物件ハ本法其ノ他ノ法律ニ別段ノ定アル場合及農産部大臣ノ定ムル所ニ依リ其ノ許可ヲ受ケタル場合ヲ除クノ外之ヲ讓渡シ又ハ所有權以外ノ權利ノ目的ト爲スコトヲ得

第三十八條 農家ハ自ら其ノ農場ヲ經營耕作スルコトヲ要ス

農家ハ自家勞力ヲ以テ一時農場ノ經營耕作ヲ爲スコト能ハサルトキモ其ノ他正當ノ事由アルトキハ團又ハ組合ノ許可ヲ得テ農業勞働者ヲ使用シ又ハ其ノ管理ヲ團又ハ組合ニ申出ツルコトヲ得

第三十九條 農家カ自家勞力ヲ喪失シ回復ノ見込ナキトキ其ノ他正當ノ事由アルトキハ團又ハ組合ニ對シ農場ノ買取ヲ申出ツルコトヲ得

第四十條 前條ノ申出アリタル場合ニ於テハ團又ハ組合ハ團協議會又ハ組合協議會ノ協議ヲ經テ相當ノ價格ヲ以テ農場ヲ買取ルコトヲ要ス

第四十一條 第三十八條第二項又ハ第三十九條ノ場合ニ於テ管理又ハ買取ノ申出ナキトキト雖モ團又ハ組合ハ必要アリト認ムルトキハ團協議會又ハ組合協議會ノ協議ヲ經テ農場ヲ管理スルコトヲ得

第四十二條 農家カ其ノ本分ニ悖リ團又ハ組合ノ秩序ヲ紊リタルトキ又ハ正當ノ事由ナクシテ引續キ二年以上農場ノ經營耕作ヲ爲ササルトキハ團又ハ組合ハ團協議會又ハ組合協議會ノ協議ヲ經テ上當該縣長又ハ旗長ノ許可ヲ得テ相當ノ價格ヲ以テ農場ヲ買取ルコトヲ得

家長ノ地位ノ承繼開始後二年以內ニ其ノ承繼人定マラサルトキ及第三十八條第二項又ハ前條ノ規定ニ依

リ團又ハ組合カ引續キ五年以上農場ノ管理ヲ爲シタルトキ亦前項ニ同シ

第四十三條 第三十八條第二項及第四十條乃至前條ノ規定ニ依リ團又ハ組合ノ爲シタル處分ニ對シテハ其ノ處分アリタル自ヨリ二月以内ニ法院ニ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得

第二十九條並ニ第三十條第二項及第三項ノ規定ハ前條ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 團又ハ組合カ農場ノ全部ヲ買取リタルトキハ農家財産及農家債務ハ最後ノ家長ニ歸屬ス

前項ノ規定ニ依リ農家財産ヲ取得シタル者ハ農場買取ノ時ニ於ケル農家族ニ對シ情義ニ違ヒ相當ノ財産ヲ分與スルコトヲ得

第四十五條 團又ハ組合ハ農家ニ對シテ有スル債權ニ付第四十條又ハ第四十二條ノ農場買取代金ノ上ニ質權ヲ有ス

團又ハ組合ハ農場ヲ管理シタル場合ニ於テハ農家ニ對シテ有スル債權ニ付當該農場ヨリ生スル收穫物ノ上ニ質權ヲ有ス

前二項ノ質權ハ他ノ質權ニ優先ス

第三章 開拓農地ノ造成

第四十六條 團ハ開拓農地造成ノ爲必要ナル土地ヲ團又ハ組合ニ讓渡ス團又ハ組合ハ開拓農地造成ノ爲必要アルトキハ農家大臣ノ認可ヲ得テ團以外ノ者ヨリ土地ヲ取得スルコトヲ得

第四十七條 農家大臣ハ必要アリト認ムルトキハ團又ハ組合ノ所有スル土地ノ讓渡又ハ交換分合ヲ命スルコトヲ得

第四十八條 團又ハ組合ハ第四十六條ノ規定ニ依リ取得シタル土地ニ付農家大臣ノ定ムル所ニ依リ神社用地、公共用地、共同利用地及豫備地ヲ定メ爾餘ノ土地ヲ農家ニ讓渡スルモノトス

第四十九條 前條ノ場合ニ於テハ團又ハ組合ハ豫メ開拓農地配分計畫ヲ定メ農家大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五十條 團又ハ組合ハ其ノ所有スル共同利用地ヲ管理規定ノ定ムル所ニ從ヒ農家ヲシテ使用收益セシムルコトヲ要ス

第五十一條 團又ハ組合ハ必要アリト認ムルトキハ團協議會又ハ組合協議會ノ協議ヲ經テ農家ニ對シ其ノ所有スル開拓農地ノ交換分合其ノ他必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第四十三條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第五十二條 團又ハ組合ハ其ノ所有又ハ管理スル土地ノ管理規定ヲ定メ農家大臣ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス

第五十三條 團又ハ組合カ他人ヲシテ其ノ所有又ハ管理スル土地ヲ經營耕作セシムルトキハ其ノ契約期間ハ二年ヲ超ユルコトヲ得ス

第五十四條 第三十六條及第三十七條ノ規定ハ之ヲ團又ハ組合ノ所有スル土地ニ準用ス

第五十五條 農家大臣ハ團若ハ組合ノ所有スル土地又ハ開拓農地ノ管理及處分カ法令若ハ開拓農地管理規程ニ違反シタルトキ又ハ必要アリト認ムルトキハ團、組合若ハ農家ニ對シ必要ナル處分ヲ命スルコトヲ得

第五十六條 農家大臣ハ本章ニ定ムル權限ヲ省長、縣長又ハ旗長ニ委任スルコトヲ得

附 則

本法ハ康德九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

開拓農場法理由書

滿洲開拓政策基本要綱ノ本旨ニ基キ開拓農地ニ關シ農家ト農地トノ悠久ナル結合ヲ圖ルヲ目的トシテ世襲家產制度ヲ規制確立シ以テ營農ノ根據ヲ確保スルト共ニ健全ナル開拓農家並ニ之ヲ基盤トスル理想的農村ノ生成發展ヲ期スル爲本法制度ノ要アルニ因ル

開拓農場法第十四條ノ規定ニ依リ家長ノ代行者ニ關スル件

第一條 開拓農家ノ家長カ未成年ナル場合ニ於テハ當該開拓團(以下團ト稱ス)又ハ開拓協同組合(以下組合ト稱ス)ノ區域内ニ居住スル父ナキトキハ母ハ家長ノ職務ニ付代行者ト爲ル

團又ハ組合ノ許可ヲ得タル場合ニハ團又ハ組合ノ區域外ニ居住スル父又ハ母ト雖モ代行者ト爲ルコトヲ得

第二條 前條ノ規定ニ依リ代行者タルヘキ者ナキトキハ團又ハ組合ハ其ノ區域内ニ居住スル本人ノ後見人、親族其ノ他適當ナル者ノ中ヨリ代行者ヲ選任ス

第三條 家長カ長期ニ互リ家政ヲ主宰スルコト能ハサルトキハ團又ハ組合ハ左ノ順序ニ從ヒ代行者ヲ選任スルコトヲ得

一 團又ハ組合ノ區域内ニ居住スル父、父ナキトキハ母、
二 團又ハ組合ノ區域外ニ居住スル父、父ナキトキハ母